令　和　元　年　度

一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会

事 業 報 告 書

（事業期間：平成３１年（令和元年）４月１日から令和２年３月３１日まで）

Japan Deaf
Athletics Association

JAPAN SPORT
COUNCIL
日本スポーツ振興センター

競技力向上事業

一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会
事業計画基本方針に対する評価及び所見

１基本方針への取り組みに対する評価及び所見

（１）　障害者スポーツ（聴覚障害者陸上）の地域振興の推進をします。

日本陸上競技連盟が契約している味の素ナショナルトレーニングセンターを利用できるように日本陸上競技連盟と話を進めることができなかった。顧問にパイプづくりをお願いしていたが、オリンピックイヤーということもあり、今回ではなく来年度にお願いすることになった。また、今回は香港で予定していた第9回アジア太平洋ろう者競技会が中止になったため、地域に応援してもらえるような場を設定できなかったため、振興度は達成されなかった。

（２）　国際大会・国内大会での競技環境の整備・理解啓発事業を推進します。

第9回アジア太平洋ろう者競技会が中止になったため、振興する場がつくられなかった。
しかし、第16回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会 兼デカネーションのプレ大会実施により地域への知名度や海外選手招聘関係で啓発事業として推進する取り組みができた。代表選手選考も兼ねていたので、選手が目標とする舞台を設定することができた。

（３）　競技力向上に向けて選手及び役員を支援します。

今年度は中距離ブロックに優秀なコーチを配置することができ、選手育成に大いに繋がった。また跳躍コーチも1名確保できたので、これから選手の育成強化が推進することが期待できる。
JAAF公認ジュニアコーチ資格取得支援を行い、2名のコーチが取得した。今後もコーチの育成事業として、公認資格を積極的に取得してもらい、競技力向上に繋げていきたい。

（４）　２０２０デフスポーツデベロップメントプロジェクトを推進します。

２０２０年東京オリンピック・パラリンピック（以下、オリパラ）開催に向け、多くの競技団体はすでに多くプログラムを実施し、普及・発展に向け活動を行っている様子を目にする。しかし、デフスポーツがオリパラに深く関与する機会がほとんどない状況がある。ろう者のスポーツの祭典デフリンピックも日本での認知度は 12%程度と大変低く、ろう学校でもオリパラ教育が平成 29 年度より実施されているが、使用される読本の中にデフリンピックに触れる記述は少なく、聾学校の生徒ですらデフリンピックのことを深く学ぶ機会がないのが現状である。こうした様々な課題に対してデフスポーツ団体が一丸となり、２０２０年に向け、国内におけるデフスポーツの普及、発展を目指して、立ち上げることとなった。

令和元年度においては、第 16 回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会では海外招聘事業を行い、台湾、アメリカ、オランダ、ラトビアから選手 7 名が集まり、通常の日本選手権大会の運営に加え、2020 年 10 月に予定されているデカネーション大会のプレ大会として入賞者にポイントが与えられるチーム競技による運営も行った。前回大会に引き続きスタートランプによるエキシビションも実施し、国内外選手と観客が交流する機会を設けることができた。さらに、12 月には関東地区聾学校と合同での合宿を行い、当協会強化指定選手による指導を受け、話を聞く機会を提供した。外部に向けては、12 月に東京都北区オリパラ推進課からの依頼を受け、障害者週間記念講演会にて聴覚障害とデフスポーツの課題について、スタートランプの普及活動の様子を含めてお話しさせていただいた。その後には田井選手と門脇選手による「見えるホイッスル」と「スタートランプ」を使ってデフアスリートが抱える課題を参加者の方に実際に体験していただいた。神奈川県立福祉大学で開催された「神奈川パラスポーツフェスタ」や横浜市で開催された「手話の世界へ GO！」においてもスタートランプ体験ブースを設け、どちらも多くの来場者に対してデフ陸上競技について知っていただく機会を

作ることができた。令和 2 年度も引き続き、第 17 回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会でのエキシビションや聾学校との合同合宿を計画、実施したい。外部に向けても、関東だけでなく全国に幅を広げて、普及活動を行っていく。

（5） パートナーシップ協定などに向けて企業・団体等と新たな連携を推進します。

令和元年度においては、従来の協賛企業、ミズノ、ニシ・スポーツ、B&D、ドクターエアに加え、つなひろワールドとの年間スポンサー契約を結ぶことができた。また、ヤマダ電機を母体とする、財団法人山田昇記念財団と共催でデフジュニア陸上教室を各地で5回行い、今年度もデフジュニア教室を継続しパートナーシップを深めていきたい。

第16回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会においても、協賛企業数社からの協賛を得ることができ、アルファロメオとの様々な取り組みにも積極的に参画し、今後もデフスポーツ発展の為、各企業と連携して様々な事業を続けていきたい。

（6） 協会の運営体制の充実そして組織体制を強化します。

強化委員会の体制強化に努め、それぞれのブロックに専門知識のあるスタッフを配置することができた。2020年度はデフリンピック大会　日本代表の選考に関しても、公平性のある選考をしていけるように体制を更に強化していきたい。

行政書士･税理士･弁護士との連携を密にとりながら、運営や会計などを適切に処理していくことができた。各委員会の活動を行えるよう、組織体制を強化。また、チームドクターを新たに設置し、医科学委員会を立ち上げ、より専門性の高い医科学的見地からのアプローチができた。

令和元年度一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会　事業報告書

【強化合宿の開催】

事業名	日程	場所	参加人数
第1回合同強化合宿	5月1日～5月3日	上尾総合運動公園陸上競技場	全体人数29名 選手22名 スタッフ7名
フィールド強化合宿	7月13日～15日	国士館大学	全体人数20名 選手12名 スタッフ4名 外部講師4名
第2回合同強化合宿	8月10日～8月13日	北海道（千歳市）	全体人数32名 選手24名 スタッフ8名
~~第1回アジア大会代表合宿~~ ※本大会が中止になったため、中止	~~10月19日～20日~~	~~日体大~~	
~~第2回アジア大会代表合宿（リレー）~~ 同上	~~10月26日～27日~~	~~未定~~	
関東聾学校合同合宿	12月26日～28日	上尾総合運動公園陸上競技場	全体人数33名 選手24名 スタッフ8名 外部講師1名
短距離・ハードル強化合宿	1月25　日～1月26日	筑波大学	全体人数22名 選手16名 スタッフ6名
第3回合同強化合宿	2020年2月22日～29日	沖縄本島	全体人数37名 選手25名 スタッフ10名 外部講師2名
~~第4回合同強化合宿~~ ※上部団体よりコロナウィルス感染拡大による中止勧告の指示があったため中止	~~2020年3月20日～21日~~	~~神奈川県~~	

【全国聾学校小中学生育成・普及事業】

事業名	日程	場所	参加講師
第1回ジュニア陸上教室	11月17日	東京	佐藤湊　岡田海緒
第2回ジュニア陸上教室	11月30日	仙台	佐々木琢磨
第3回ジュニア陸上教室	12月7日	群馬	田井小百合　門脇翠
第4回ジュニア陸上教室	2月8日	大阪	竹花康太郎　石田考正
第5回ジュニア陸上教室	2020年2月21日	沖縄	山田真樹　長内智

【第16回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会】

事業名	日程	場所	参加人数
第16回日本聴覚障害者陸上競技選手権大会 （第1回世界ろう者室内陸上競技選手権大会報告会も実施）	6月8・9日	駒沢オリンピック公園 陸上競技場	選手66名 （うち、海外選手7名） 競技役員・審判員123名

【活動の場及び人材（選手）の発掘（普及）事業】

事業名	日程	対象大会	場所
選手の発掘事業	6月28・29日	関東聾学校陸上競技大会	横浜
選手の発掘事業	8月4日～8日	全国高等学校陸上競技選手権大会（インターハイ）	沖縄
選手の発掘事業	9月27日～29日	全国聾学校陸上競技大会出場者	栃木
選手の発掘事業	9月27日～29日	第53回全国ろうあ者体育大会	島根
選手の発掘事業 ※　台風により中止	~~10月12日～14日~~	~~全国障害者スポーツ大会~~	~~茨城~~

【海外の大会視察及び国際会議】

事業名	日程	対象大会及び活動内容	場所
第10回デフヨーロッパ陸上競技選手権大会兼第4回世界ろう者陸上競技選手権大会　視察事業、評議員会	7月23日～28日	第10回デフヨーロッパ陸上競技選手権大会兼第4回世界ろう者陸上競技選手権大会　視察事業、評議員会	ドイツ
第1回アフリカデフアスレチックチャンピオンシップ大会視察	9月13日～18日	第1回アフリカデフアスレチックチャンピオンシップ大会視察	ケニア ナイロビ
冬季デフリンピック大会視察及び国際会議	12月8日～11日	国際ろうスポーツ委員会 国際会議兼 第4回世界ろう者陸上競技選手権大会TD会議　兼　第24回夏季デフリンピック大会 視察及び情報交換会	イタリア

【競技支援・普及活動事業】

事業名	日程	対象大会	場所
選手支援事業	5月18日,19日	第61回東日本実業団陸上競技選手権	埼玉
選手支援事業	5月23日～26日	関東学生陸上競技選手権大会	神奈川
~~選手普及事業~~	~~6月27日～29日~~	~~日本陸上競技選手権大会~~	~~福岡~~
選手支援事業	6月28・29日	関東聾学校陸上競技大会	横浜
選手支援事業	7月19日～21日	ジャパンパラ陸上競技大会	岐阜
選手支援事業	10月1日～3日	九州聾学校陸上競技選手権大会	宮崎
選手支援事業	9月20日～23日	全国ろうあ者体育大会	島根

選手支援事業	9月27日～29日	全国聾学校陸上競技大会出場者	栃木
選手普及事業	10月4日～8日	第74回国民体育大会	茨城
選手支援事業 ※　台風により中止	~~10月12日～14日~~	~~全国障害者スポーツ大会~~	~~茨城~~

【第9回アジア太平洋ろう者競技大会　派遣】

事業名	日程	対象	場所
~~第9回アジア太平洋ろう者競技大会~~ ※国の政治的情勢により派遣中止	~~11月1日～11日~~	~~日本代表選手~~	~~香港~~

【発展途上国・地域の選手強化プログラム】

第3回強化合宿（沖縄）で実施。

Ⅵ 諸会議（※3月の総会で、組織体制改革案を出します）

事業名	日程	場所	参加人数
第1回強化会議	4月13日	横浜	8名
第2回強化会議	5月2日	埼玉	5名
第3回強化会議	5月19日	横浜	6名
第4回強化会議　及び　定期総会	6月15日	横浜	5名
第5回強化会議（ジャパラ大会時に実施）	7月20日	岐阜	6名
第6回強化会議（北海道合宿内で実施）	8月10日	北海道	5名
第7回強化会議（国体）	10月5日6日	東京	5名
第8回強化会議	11月17日	東京	8名
第9回強化会議	12月7日～8日	群馬	8名
第10回強化会議	2月1日,2日	東京	5名
第11回強化会議	2月16日	東京	7名
第12回強化会議	3月6日～7日	福岡	4名
第13回強化会議	3月14日～15日	横浜	9名
第14回強化会議　及び　定期総会	3月19日～21日	横浜	16名

令和元年度　決算報告書（別紙）